

キンスポ

2輪専用サーキット
近畿スポーツランド
情報発信紙
初夏号(第4号)
Tel(0774)88-3633
http://www.kinspo.com



2015
KSLガール
坂上 えりな (右)
浅倉 衣純 (左)

皆さん
よろしく
お願いします♡

小西記念近畿スポーツランドミニバイクRR第1戦 心機一新新たな気持ちで1年目のキンスポRR開幕!!

去る4月19日(日曜日) キンスポロードレース事、年間3戦で争われる近畿スポーツランドミニバイクロードレースが開幕した。4月中旬と言った開催日程で、非常に過しやす気候の中での開催であったが、当日は朝から雨模様で、受付、フリー走行、予選とウエツト状態での進行となったが、晴れ女で有名?な大会MC河原志穂の効果か?お昼に近づくにつれ、雨は上がり路面が乾きはじめた。決勝は正しく奇跡のドライコンディションで開催された。総参加台数141台もの多くのライダーが近畿スポーツランドに集い、各クラス激しい戦いが繰り広げられた。中でもHRCCTロワイのトップ争いやM1クラスなどは見る者を魅了するこれぞレースといふ展開が繰り広げられた。また初開催のOBRR2500Rドリームカップも開催され、ミニバイクレースのみならず、2輪専用ライツバイクサーキットとしての本格的な始動を象徴する大会となった。また、お昼休みには、照屋則斗氏によるバイクスタントショーが行われ、多彩なウィリや数々の技が披露され、観客の皆さんも大いに楽しんでた。そして最終レースのMGP(旧MEX)ミニバイクノーマルクラスの最高峰クラスはクリスタルけいちゃんUNO-Pに肉薄する素晴らしいレース運びを見せるも、やはり番長UNO-Pが後半スタートを明け、賞額の勝利をおさめた。表彰式では協賛各社から提供された豪華賞品が当たる大抽選会やMGP現金争奪大予想も本朝UNO-Pが勝利したことにより大量当選者が出て、大きな歓声に包まれた。次回第2戦は8月20日(日)にJ-TERR杯として開催予定だ。コース詳細は4面



あいにく朝から雨模様だが総勢多くの参加者にぎわった



現役にしてキンスポ最強レジェンドのUNO-Pの完勝



トピックス

夏をオシャレに乗り切る
必須アイテム?

2015近畿T発売決定!

近畿T 前回は2012年以來の久しぶりの夏Tを販売する。今回は開場25周年を記念しての発表だ。カラーラインナップは3色でホワイト、ネイビー、イタリアンレッドの3種類となる。デザインは数々のレース関係のデザインを手がけた株式会社D1C代表のMAX小原氏だ。近畿スポーツランド25周年2輪(ミニバイク・ライトバイク)一筋での運営を現す一本のタイヤ痕をバックにデザインし、開業当初からあるスクエアタイプロゴのアレンジしたものに決定した。これで夏の視線を釘付けにすること間違いなし?近畿スポーツランドは売れ残りの恐怖に打ち勝ち、限定1000枚という暴挙に出た。どうか一つ、人助けと思い一家に1枚いや2枚、3枚ご購入いただければ幸いです。万一売れ残った場合は代表である田中が買い取ることにになり、大好きな釣りに行きにくくなる可能性がある。販売価格2000円で、サイズはS・M・L・XLの4種類で各色売り切れ次第販売終了となる。お求めは全国有名百貨店(嘘)または近畿スポーツランド受付事務所をお願いします。M()三



BOSCO MOTO レンタルギア
BERIK レーシングスーツ・ブーツ・グローブの貸し出しスタート!

ベリック・アレンブランドの購入を検討されている方で実際の着心地を試したい方初心者の方やレースを始めたいけど未だ購入されていない方一度サーキット走行を体験したい方、ツナギを修理中の方、ツナギを忘れた方、エンジン系レースに参加したい方、体験走行企画の参加者の方やツーリングイベントやレース体験イベントの参加者等々...お気軽にご利用下さい。詳しくはHPを!ご予約・お申込みは お電話で! 0774-88-3633

●特集!

2015大阪モーターサイクルショーに近畿スポーツランドがブース出展!

去る3月20日(金)～22日(日)

第31回大阪モーターサイクルショー2015に近畿スポーツランドが初出店した。小規模サーキットの単独での出店はおそらくモーターサイクルショー史上初で、ブース設営には株式会社D.I.Cの小原社長が自らブースをプロデュースして下さり、キンスポイメージカラーのブルーで鮮やかに統一されたブースがひときわ目立ち、訪れる来場者の眼を引いた。3日間の総入場者数はなんと約5万7千人を超え、過去15年で最高の入場者数となった。キンスポブースでは実際の車両展示や、公式カメラマン大西としやの写真展示、レース映像動画や写真のスライドショーに加え、レース入門的内容がわかりやすく説明されているパンフレット、KSLレーサーズマニュアルやステッカーの配布を中心にミニバイクレースやライトバイクレースのPR活動に努め、予定していた枚数を大きく超え、全ての配布物がなくなるほどの盛況で、多くの来場者の皆さんに興味を持っていただくことに努めた。また、キンスポRRの協賛企業であるKTC、京都機械工具株式会社様の最新カタログも配布!積極的に質問くださる来場者も多く、大盛況で、てんやわんやの3日間となった。極めつけは2015KSLガールの浅倉衣純(あさくらいずみ)と坂上えりな(さかがみえりな)の人気は凄く、株式会社ボスコ・モト様の協力をいただき、ベアリック、アレンスブランドのレーシングスーツに身を包んだ斬新なセクシースタイルで現れたKSLガールに黒山の人だかりで、一時、関係者も身動きが取れない状態に・・・汗カメラのフラッシュが途切れる事はなかった。また全日本ライダーの津田兄弟を始め、キンスポゆかりのライダーや関係者も多く訪れてくださった。

★スペシャルサンクス

株式会社D.I.C・大西としや・ピザリトルパーティー亀岡店
株式会社ボスコ・モト・はっぴいえんどプロジェクト
ワディーデザイン(順不同・敬称略)



スクープ!

マジか? なんとカブでキャリアを引っぱり天空のサーキットまで

えつちらほつちら上がってきた若者を発見!

ある日のキンスポ、練習走行終わりに積み込み作業中の時間帯・・・記者の目に飛び込んできたのは正しくアンビリバボーな光景だった(写真左) テンションが急激に上がり、すかさずその若者たちに声をかけた! オナーの黒瀬君とライダーの田中君の22歳の大学生コンビ! 話を聞くとノーマルの50ccカブを90ccにエンジン積み替え、キャリアを引いているという。レース車両(N5)工具、パーツ類を全て積み込みこの心臓破りの山道を登ってきているとの事。キャリアにNSR50や工具・パーツナギなど全ての必要品を積み込むと言っただけ・・・(汗) そうすると総重量は150キロ程度になり、すもつレスラーを乗せて上がってきているようなものだ。流石、日本の傑作バイクカブと次世代の若者! この車両とキャリアの制作は滋賀県草津市のバイクショップ KOKOKU ROAD(ココクロード)さんで作成したとのこと。代表の田村氏は古くからのキンスポのお客さんでもある。ハイエースもいけどこつこつのも遊び心があって、非常に楽しいなと感じた記者であった。尚、滋賀、京都、大阪は通行OKという警察のお墨付きも頂いているとのこと。何故か神奈川はだめらしい。



★KSL人気レース紹介 VOL1

サブファイトステージ&全日本カブ耐久

近畿スポーツランドの現行レースで一番古くから行われているレースで、初開催は1994年。なんと21年間続いている名門中の名門レース。年間3戦の耐久を中心としたミニバイクレースで、選手権とは一線を画し、今ではエンジンイレースとして当たり前となった速い人はベナルティというハンデ制をいち早く取り入れた草分けのレースだ。夏にはライブイベントや皆が楽しめるアトラクションも開催。過去には自転車、台車でのレースなどミニバイクに関わらず、老若男女皆が楽しめるレースを日々目指して運営されている。主催者のはっぴいえんどプロジェクトの森田氏は本業のカスタムペイントの傍ら、レース主催を長年続けており、正にエンジンミニバイクレースの基礎を築いた第一人者でもある。それだけに他のレースに無断でまねされる事も多いが、それにもめげず日々新しいアイデアを出し続ける。最近ではカブを中心とした耐久レース全日本カブ耐久をサテライトステージと同日開催し、人気を集めている。常に独自のアイデアを盛り込んでレース主催を続けておられ、兄弟レースとして同じくキンスポで開催されているルーツザ原チャリの主催と共に日々活動されている。

GWの序盤4月29日開催の今回も盛況で、全日本カブ耐久二時間耐久、ミニバイク三耐久時間 R48一時間耐久、R55スプリント、カブOPスプリントと盛りだくさんで開催され、100名超の参加者で大盛況だった。次回第2戦は夏祭りスハシヤルは8月16日開催 詳しくは

はっぴいえんどプロジェクト〒630-0101 奈良県生駒市高山町85
31-2 TEL/FAX 0743-7919000
公式HP <http://happy.r1r1c.jp/satellite.php> キンスポ公式HPから
リンクしてま。

メインレースとなる
S1S2耐久
スタートシーン
全日本カブ耐久



主催者の森田氏(写真右)56歳 カスタムペイント・レース主催・レース参戦・バンド活動などパワフルに活躍され、レース運営・競技監督・MCなど多彩にこなされる



キンスポRR開幕戦 各クラスレポート

●ジェネレーシヨウクラス

オーバー40歳のライダー達によるジェネレーシヨウクラス。去年から始まり、2年目の開催で予選タイムアタックはなく、女性ばかり引き、男性は年齢順でグリッドが決定する。若い人ほど後方のグリッドになるシステムである。今年から制限タイムが設定され4.5秒を3回切ると賞典外となります。今回は、1、2台のエントリー。今年2月に設置されたハタデンシングナルでの記念すべき公式レースの初レースである。レッドシグナルが点灯ののち消灯でスタートとなるが、レッド点灯で大きく1台の車両が動いてしまつ。それはなんと、信号機を設置してくれたハタデン社長(こと畑選手である)笑。※動いてすぐに止まったので今回は嚴重注意処分となる。その他の選手は綺麗にスタートを切り、ホールシヨットはポスタートの渡辺選手が獲得。1番グリッドから好スタートのフリーザ選手が5番手走行中にリットパコナーで転倒！戦線を離脱してしまつ。渡辺選手川俣選手大林選手畑選手の4台が上位グループを形成した。4周目の1コーナーで大林選手が川俣選手と捕え2位に浮上。6周目にはトップ渡辺選手に2コーナーで仕掛けるが入りきれず大きくバランスを崩し後退してしまつた。最終トップを守りきつた渡辺選手が優勝2位は川俣選手、3位はこの後、嚴重注意を受けた畑選手となった。

優勝 渡辺 広人

2位 川俣 渉

3位 畑 彰



●ルーキークラス

ルーキークラスとして過去最多台数の17台のエントリーがあり、老若男女さまさまライダーが走行する、初心者向け制限タイム4.9秒のルーキークラス。
上手くスタートをしたRS八三の竹下選手小島選手河野選手が後続を大きく引き離し過ぎ、名誉の章典外となる。トップ争いは、こちらもRS八三の城野選手田中選手池田選手に絞られた。池田選手が5周目に3コーナーで田中選手を抜き、城野選手とバトルとなる。迎えたファイナルラップ！1コーナーのプレキングで城野選手をかわしトップに浮上しチェッカーを受けるも池田選手も制限タイムを切り、名誉の賞典外となりました。
1位はキンスポ初参戦の城野選手が優勝2位は田中選手3位奥村選手4位山口選手5位ミルキー選手というリザルトになった。

優勝 城野 吉隆

2位 田中 陽介

3位 奥村 南



4位 山口 陽大



●M-3クラス

今年度からM系4クラスの名称が変更になったM-3クラスは旧M-1クラス制限タイムは4.6秒5である。9台でのエントリーでレーススタート。ホールシヨットはポールポジションスタートのグリッド選手がスタートミスしたが上手く挽回し獲得。2番手は好スタートをした小椋選手が奪つと思われたが田内選手がプレキングで前に出る。3コーナーからの直線で小椋選手を市川選手が捕え3位に浮上。
スタート後ぐんぐんと後続を引き離し、6秒ものアドバンテージを築いたグリッド選手が見事初優勝！2位は田内選手3位は終始田内選手にプレッシャーをかけた続けたが、抜くところまでに至らなかつた市川選手となった。

優勝 グリ

2位 田内 元

3位 市川 遼平



●M-2クラス

旧M-1クラス！制限タイム4.5秒の激戦。今大会最高の20台ものエントリーを集めて決勝がスタート！大混戦の1コーナーを制したのはベテラン大林選手、2番手に畑、3番手西村選手、4番手ジュニアの佐藤選手、5番手期待の若手？越谷選手でオープニングラップ通過する。激戦クラスだけあって、各所で激しいレースが展開され。トップ集団は大林、畑、西村と続き、快調に周回を重ねる。上位3台のベテラン勢がレースを引っ張る形で展開していく中、レース後半になるとトップの大林選手が2コーナーでリアが滑り転倒！すぐ後ろにいた2番手の畑選手もつられて転倒！まるでシンクロするように2台が転倒した。このアクシデントでトップに立ったのは西村選手、続いて去年のキックスクラスのチャンピオンで、今回キックスクラスとダブルエントリーのまお選手、佐藤まお選手が2番手、3番手越谷、4番手田中、と続く。勝機を見出した佐藤が俄然ハッスル！直線から1コーナーで西村選手をかわしトップに浮上！これを見た越谷選手もさらにハッスル！ハッスル！ファイナルラップ1コーナーで西村選手をかわし2番手に浮上し、佐藤選手がトップ

プでチェッカーをつけるもハップルタイムで名譽の賞典外となり見事若手の越谷選手が初優勝！師匠野崎に胸を張れる素晴らしい結果となった。2位に西村選手、3位田中選手、4位正垣選手、5位にハミンの村上選手が入賞を果たした。最近元気がないジュニア、若手の成長が今後楽しみなM2クラスとなった。

優勝 越谷 元 2位 西村 智和 3位 田中 孝寛



4位 正垣 健太 5位 村上 正也



●キッズクラス

子供たちの熱き戦いキッズクラス。今回は7台のエントリーウェット路面でのタイムアタックとなった予選のポールポジションは、昨年度キッズクラスチャンピオンの佐藤選手を抑え、初ポールを獲得したRSハミンの堀井選手。2番グリッドに佐藤選手、3番グリッドは成長著しい鈴木選手となった。

レースは、予選1位の堀井選手が抜群のスタートを切った。佐藤選手と鈴木選手はスタートをミス。しかし、ミスを挽回すべく佐藤選手が猛ブッシュ。2周目の1コーナーで堀井選手を捕え1位に上がる。鈴木選手も5番手まで順位を落とすが、3周目に岡村選手をパス。6周目の2コーナーで濱嶋選手に仕掛けるが、痛恨のスリップダウン。そのままリタイアとなってしまう。チャンピオンの意地を魅せ佐藤選手が見事優勝。2位は堀井選手、3位は愛知県から遠征の濱嶋選手、岡村選手、北氏選手、長内選手の順となった。第2戦各選手の更なる成長に期待したい。



優勝 佐藤 まお



2位 堀井 颯太



●M1クラス

ハイエンドクラスへの登竜門M1クラス。旧Mクラスへハイレベルな戦いとドッグファイトが期待される。16台でのスタート！ポールは元オフシールドクラブの新岡！ベテランだ。ホルシヨットから新岡選手がトップ、2番手は女子ジュニアの後藤田選手、3番手にRSハミンの干渉小島選手、以後日糸勢の守田選手、1インチのベテランだが、アグレッシブな走りに定評がある前田選手、ジュニアで急成長を見せる鈴木選手と続く、トップ集団新岡、後藤田、小島の3台に形成され、2コーナーで小島が後藤田を捉え2位に浮上した。勢いがついた小島は新岡を追撃する。序盤ながら新岡と小島の激しい頭取り合戦が展開され、さたり、さされたりのバトルが繰り広げられ場内も歓声に包まれる。小島が意表を衝いて、複合でインを指せば、新岡は1コーナーですかさず前へ、その後小島が2コーナーで抜き返すが3コーナーで新岡が！といった感じでめまぐるしくトップが入れ替わるミバイクレースの醍醐味ともいえる好レースの展開。この2人のバトルでトップのタイムが上がらないのが、3番手の後藤田、4番手の鈴木も徐々にトップの2台に追いついてきた。5番手争いは松村選手と1インチの前田選手の争い。残り3周で鈴木がベアスの上がらない後藤田を1コーナーで捉え、3番手に浮上！序盤激しくトップ争いで色々しかけていた小島だが、冷静さを取り戻し、新岡を追従し、一発を狙う様子。ラスト2周で再び小島が動いた！1-3コーナーで新岡をかわす、鈴木も動き、3つ巴のトップ争いに！そしてファイナルラップ突入！

体格の小さい鈴木が1コーナーの突っ込みで耐え、トップになったかと思いきや2コーナーでインとなる新岡が抜き返すが、クラック侵入で小島が出て勝負あり！僅差で優勝は小島、2位新岡、3位にジュニアの鈴木となり、同時にM1GPクラスへの参戦権を得た。4位には後藤田が入賞を果たした。M1クラス史上に残る素晴らしいレースを見せてくれた選手に感謝したい。観客も素晴らしいレースに惜しみない拍手が送られた。群雄割拠のM1クラス次戦も非常に楽しみだ。

優勝 小島 歩



2位 新岡 宏顕



3位 鈴木 悠太



4位 後藤田 悠



●FP4&FPクラス

10インチスクーターによる4ST125ccのノーマル車両と2ST50ccの準改造車両での同一賞典のレースであるが、今回は11台のエントリーとなった。4ST125ccの車両は特にアドレセンスV125での参戦が多いが、この車両はリアサスベンションのみの変更しか認められておらず、ほぼノーマル状態ではあるが、車両のポテンシャルは非常に高く、保安部品を外せばすぐにレース車両に生まれ変わる夢のような車両である。メンテナンスは定期的にオイル交換をするだけというライダーがほとんどで、下手に手を入れてしまうと遅くなってしまふことがあまらしく、このクラスのトップライダーは街乗りの状態から何もしていないのが現実だ！ローコストでレースをするには持って来いの車両である。レースに話を戻そう。死神博士の愛弟子である民谷選手は台湾遠征の為、今回は死神博士の独壇場だと思われたが、予選前に転倒してしまい最後尾グリッドからスタートとなった佐藤選手が怒涛の走行で1周目クリア時点で6位、3周目に3位、8周目に中尾選手を1コーナーで捕え2位に浮上。トップの死神博士に仕掛けを撃つ位置まで来たが、10周目の最終「一



ナー手前でオーバートラクションにより、スリッパダウンを喫してしまった。これで楽になった死神博士が見事優勝・2位は中尾選手・スタートミスで後退していた三浦選手が確実に順位を上げ3位に輝いた。

優勝 死神 博士

2位 中尾 伸長

3位 三浦 康大



●バトルウォーズクラス

新クラスバトルウォーズクラス！MでもFNでもOPでもキンスポRRの各クラスの車両ならどんな車両でも（キッズ・74以外）参加でき、車両ハンデによって、リザルトに係数をかけて順位を決定するという全く新しい試みのクラス！初戦と言ったこともあって、まだまだ台数的には寂しいが、5台でのレース。SP車両で参加予定の女子高生ライダー田村選手が車両トラブルで、急遽OP車両での出場となった。序盤OP車両で参加のミスターポポがリードするが、田村選手が2周目からトップに浮上し1番手フイニシユ！2番手にポポ3番手に永田選手4番手は三浦選手と死神博士のFP同士の激しいバトルとなるが、最終的に死神が4位でフイニシユとなった。ここで最終結果優勝はOPながら1位でフイニシユした田村選手、2位は4位フイニシユながらFP車両なので死神博士、3位ミスターポポ、4位三浦選手、5位に永田選手となった。車両ハンデにより、誰が勝つか分からない楽しさがあるので、是非皆様のエントリーをおまちしております。

優勝 田村 菜美



2位 死神 博士

●SP&SP4・OPクラス

今回は、SPクラス2台、OPクラス5台の混走レースとなった。SPクラスの田村選手が前日の練習走行でトラブルに見舞われリタイアとなっていた為、UNO P☆選手のみとなりました。近年、SPクラスの台数の減少に歯止めが掛からず、このままでは来年 特別開催クラスに降格してしまう恐れがある。合計で6台でのレースがスタート！ 勢い良くスタートを切ったのはポールポジションのUNO P☆選手がSPクラスながら独走状態を築いていく。OPクラスは、2番グリッドのMr.ポポ選手がスタートをミスし4番手まで順位を落としてしまふ。シムベット岩倉選手と畑選手が好スタートで、それぞれ順位を上げた。しかし、昨年度のチャンピオンとなったMr.ポポ選手が黙っておらず、2周目の1コーナーのブレーキングで畑選手をパス、3周目に同じくシムベット岩倉選手をパスし総合2番手につけた。その後、大きな順位変動はなくSPクラスはUNO P☆選手が優勝。OPクラス優勝はMr.ポポ選手、2位はシムベット岩倉選手、3位は畑選手、4位はノーマルのアドレスで出場してくれた藤田選手、5位は近スポ初出場の竹田選手となった。

2位 シムベット岩倉



SP優勝 UNO-P★



OP優勝 Mr.ポポ



●NSF100HRCトロフィー

全国屈指のレベルを誇る キンスポのNSF100HRCトロフィー一決勝。一時期選手層が薄くなっていたジュニアライダーも楽しいみな選手が沢山増え、非常に充実したメンバーで、11台でのレースとなった。ウエットの予選ポールは一昨年のチャンピオン土橋選手！去年の王者神原が大きく出遅れ、6番手グリッド。2番手グリッドにはジュニアの野村選手と非常に楽しみな決勝がいよいよスタート！ 土橋がホールシヨット、2番手に野村、3番手には？なんと神原がスルスルと言った感じで上がっている！4番手はベテラン伊藤選手、5番手ミスターNSFの後藤選手、以下ジュニアの鈴木 大選手、鈴木 悠選手、小島選手と続く2周目2コーナーで、伊藤選手が転倒！フロントが野村選手のリアに接触して野村も転倒した。非常に残念ながら野村は不

運なアクシデントで大きく遅れてしまった。これで、トップ争いは土橋と神原の争いとなる。3周目には神原が土橋の背後に着き、正しく背後霊のように土橋にプレッシャーをかけた。4周目1コーナーで神原がトップに立つが、2コーナーで土橋がインに切れ込んで再びトップに浮上するも再び翌周の1コーナーで神原がトップに立ち、しばらく神原がリードする中、土橋も必死で喰らいつく。そして、ファイナルラップ2コーナーで土橋が神原のインを責めるが、そのまま神原が優勝！土橋2位、3位に後藤、4位小島、5位にジュニアの鈴木となった。

優勝 神原 浩一 2位 土橋 亮一



3位 後藤 憲治

●MOTO4クラス

昨年からスタートした4スト車両限定で争われる次世代のMOTO4クラスMOTO4クラス。10台での決勝がスタート！ホールシヨットはNSFトロフィーの元オフシヤルクラブの岡選手が素晴らしいスタートを決めた。2番手は土橋選手3番手後藤選手と4ストエキスパートが連なる。4番手は鳥取のジュニア鈴木選手、5番手ベテラン田村選手、6番手は去年のチャンピオン布施川選手が少し出遅れた。2周目1コーナーで土橋がトップに浮上！新岡も2番手となるが土橋をびつたりとマークし、その直後に後藤が様子を伺う展開に。1コーナーで新岡が土橋のインを衝つと、何度も試みる。後藤も新岡を捉えようと2コーナーでトライするも、前に出られない。徐序に土橋がリードを広げ始めた。残り4周の1コーナーで、後藤が新岡を捉え、2番手に浮上！ 土橋がそのまま逃げ切り、初戦を飾った。2位後藤、3位新岡の3名が見事入賞した。



優勝 土橋 亮一



2位 後藤 憲治



3位 新岡 宏顕



●CBR250RRドリムカップ

初開催！ 近畿スポーツランド初の250ccクラス公式戦CBR250ドリムカップ。ライトバイク専用サーキットとして歩み始めたキンスポの最大排気量クラスの記念すべき初レースは7台のエントリー。ポールの佐野優人選手と予選に2番手の勝人選手。今は国際ライダーとして海外や国内で活躍する佐野優人、勝人もMEXで育った。さて、若手に目を移すと全員若いが、吉田選手、古高選手、中嶋選手、松元選手とまだまだ荒削りだが、練習を重ねて、努力するティーンネイションも注目していきたい。

レースは勝人がトップ、背後に兄優人がぴったりとマーク、3番手に吉田と言つ展開レースはやはりこの2人の独壇場で、兄弟同士の激しく素晴らしいバトルに場内も大注目となった。中盤クラック侵入で優人が前に出るが、勝人も激しく兄にプレッシャーをかける。兄弟だけにお互い手の内は知り尽くしている。まるで後ろに目がついているかのよう、2人のラインや挙動はシシクロしている。無理に行くと兄弟共倒れとなる事だけは避けたいところだ。最終的に兄弟バトルは兄優人が優勝、勝人2位、3位に吉田が入った。

優勝 佐野 優人



2位 佐野 勝人



3位 吉田 隼



8 優勝下久慎太郎

●MEX

いよいよ最終レース キンスポ名物で日本最高峰のMクラスレース。ハイエンドクラスMIGP (旧MEX) クラス決勝の時間となった。王者のUNO P ★そして四天王のクリスタルけいちゃん、とりおギヤラクシー、野崎亮介、前回4ストながら素晴らしいレースを見せてくれた神原浩一、次世代のジュニアスター細谷翼、キンスポ現役最速女子の伊東里奈、急成長を見せる徳島のジュニア野村唯人、去年のMoto4チャンプ布施川澄もレギュラーエントリー、初参加岡山山のジュニア松岡玲、そしてM1クラス上位3台の小島、新岡、鈴木も参加し、決勝13台の争い。緊張と興奮が渦巻く中、ハタデンシグナルがブラックアウト！ 1コーナーの攻防 クリスタルが番長UNO Pを抑えホールショット！ 番長を逃がすと付いて行くのが非常に困難と考えたクリスタルの作戦通りか？ 2番手に番長UNO、3番手野崎、4番手神原、以下野村、細谷、布施川の展開に・・・2周目UNOが1コーナーでクリスタルのインを衝き、トップに出るもクリスタルがすかさず2コーナーで刺し返す！ トップ集団はクリスタルを先頭にUNO、野崎、とりお、神原の5台となる。

3周目1コーナーで再びUNOがインに飛び込むが、次の2コーナーでクリスタルがさし返すことが出来ずに2番手に、しかし3周目2コーナーでクリスタルが再びUNOを抑えトップに！ UNOの独走を防ぐべくクリスタルの必死の走りが場内を沸かす！ 5周目UNOが再びトップになるもクリスタル再度2コーナーでトップに！ その時、中盤で多重クラッシュ発生！ 野村、新岡、布施川の3台が1コーナーでからみ転倒！ そのまま3台が痛恨のリタイアとなってしまう。レース中盤の残り7周、とりおギヤラクシーが野崎を抑え3番手に浮上、激しい3番手争いが繰り広げられる。このあたりから番長がスタートを駆け始めジリジリとクリスタルを離しにかかった。クリスタルも必死に追うが、UNOのスタートにどついても付いていけない様子。そのままUNOが逃げ切り貴塚の勝利！ 2位は健闘したが、最後は疲れが出たが、クリスタル、熾烈な元師弟対決はとりおギヤラクシーが制した。4位に野崎、5位細谷6位松岡、7位伊東、8位に小島となった。5番手の神原は残念ながらファイナルラップに転倒し、リタイアとなってしまった。全てのレースが終了し、黄昏時を迎えるキンスポで、ライダー観客が戦いを称えあい、表彰式、抽選会と暗くなるまで盛り上がった一日となった。次回は、8月2日 J-T-R-R-I-P杯でお会いしましょう。

優勝 UNO P ★



3位 とりおギヤラクシー



2位 クリスタルけいちゃん



●MIGP現金争奪大予想は大本命 UNO P がトップで大量当選！！



●お昼のイベント照屋則斗(しのぶのり)の

エクストリームバイクスタントショーリポート
 確か2006年の大会だったか? キンスポ杯で未だ無名に近かった木下大輔氏が縁あってお昼のイベントとしてエクストリームバイクスタントを披露してくれた。後に彼は世界チャンピオンとなり、正しく世界の木下にそれから時が流れ、今回木下氏にモーターショーで再開し、彼の弟子である照屋則斗氏を紹介してくれた。沖繩出身の照屋氏今年も世界大会にも挑戦という事で、今一番勢いがある若手バイクスタントマン! 当日は未だ所々にウェットパッチが残る難しいコンディションの中、素晴らしい演技で、会場を大いに盛り上げてくれた。多彩なウーリーやストッパー、スイッチバグなどの技が次々と披露され、迫力のある技に場内歓喜や、驚きのどよめきが沸き起こり大きな拍手に包まれた。演技終了後には彼の周りに多くの人がだかりが出来るほどの大人気だった。また是非、彼の素晴らしい演技をキンスポで見たいものだ。照屋さんありがとうございました。



J-TRIP杯 近畿スポーツランド

ミニバイクロードレース 第2戦 8月2日(日)開催!

「J-TRIP杯」近畿スポーツランドミニバイクロードレース」仁義あふれるライダーたちの仁義なき戦い!

- バトルウォーズクラス新設!
- M系4クラスが名称変更! M-GP・M1・M2・M3
- CBRドリームカップ開催! (E/B)

★J-TRIP 記念ライブ企画中!

(詳細は後日お楽しみに)
 灼熱!!の8月開催!!!
 熱いスプリントレースしませんか?

エントリー受付中!

☆ネット・現金書留・事務所に直接

近畿スポーツランド公式ホームページからエントリーホームページ <http://www.kinspo.com/>



KINSPO RACING PHOTO SERVICE
近スポレーシングフォトサービス!!

近畿スポーツランド杯写真販売



プロレーシングカメラマン
大西としや



プロカメラマン大西としや撮影の
 キンスポ杯の写真を販売中(エントラント向け)
 写真は全てヘルメットのロゴまでパッチリプリントの合ったものをセレクトしています。

新シリーズ飛翔

(若人よー時代は厳しいがなんとかははたけー) VOL.2

キンスポで練習やレースに励みロードレースに挑戦するライダーを紹介するコーナーです。第2回は桙□遥希君です。

●氏名 桙□ 遥希 (のべち はるき) 14歳

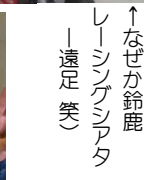
●出身 奈良、

●所属チーム 56 Racing (CBRRカップ)
CLUB GARAGE+HIRROMAX+MIDR

●クラス J-GP3・CBRR250RCUP

●ご紹介 ハルキの愛称で親しまれている。元M-EXライダーで、番長UNOPを破り2013年シリーズチャンピオンに輝いた史上初のジュニアライダーで、キッズバイクの頃から非凡な才能を発揮し、キンスポ25年の歴史の中で、最も優れた能力を持つジュニアライダーである。本年度は元GPライダーである中野真矢氏率いる56レーシングの正式ライダーに大抜擢を受け大活躍中！正に無限の可能性を秘めたライダーである。J-GP3では旧式のRS125ながら、上位に割り込む活躍を見せている。これからは正しくハルキの本当の力を見せつける事が期待されるが、結果をしっかりと残すことこれが今年の彼の課題である。いけーハルキー！

●本人コメント
今年56RacingからCBRRカップとCLUB GARAGE+HIRROMAX+MIDRからJ-GP3に出るようになりました。今年56Rカップでブランドチャンピオンシップで優勝することが目標です。応援よろしくお願いします。近畿スポーツランドではキッズバイクの頃から走っていて、M-EXでは2013年にチャンピオンになることができました。走行時間が長く、同じコーナーをいけばい走れるので色々なことが試せます！



↑キッズ時代
→芸者かつら

↑なぜか鈴鹿
レーシングシタタ
ー遠足 笑

速報！

女性ライダー伊東里奈 悲願の42秒台記録 キンスポ史上2人目の快挙

去る6月13日唯一のキンスポM-GPライダー伊東里奈が遂に念願の42秒台を記録した。正式タイムは42秒926引っぱりだかの記録だが、女性ライダーMクラスでの42秒台は、遠い昔に現RSハミン代表のナホコ先生以来、史上2人目だ。前例から女性で42秒台を出すと結婚できないというジンクス…(って言うても過去一例だけだが…汗)も気にすることなく、アバングアルド開放タイムを見事に叩き出した。あとはN先生のレコードタイムと自己最高順位を狙って、更に彼女の活躍に期待したい。なにはともあれ寒い冬も暑い夏もキンスポに通い続け諦めず努力した伊東選手に大きな拍手を送りたい。おめでとう！りな蔵さん！



更なるタイムアップを目指す伊東選手

元祖、最初の女性42秒台のN先生！(後姿)

キンスポ杯 ライダーファイル VOL.6



プロフィール
氏名 細谷 翼(ホソヤ ツバサ)
通称 ツバサ
年齢 12歳
趣味 ミニバイクレース
職業 中学生
特技 サッカー

キンスポ期待のジュニア！！気合と根性は100点満点！！
●キッズバイクの頃から愛知県より兄弟でキンスポに通い、キッズクラスがチャンピオンシップになった2013年初代キッズクラスチャンピオンに輝く！NSRに乗り換えてから、時間がかかったが、昨年よりグングン速くなり、いまやM-EXファイナリスト！
キッズの頃からハルキと鏝を削るトップ争いを見せていた。12インチデビュー当初は中々タイムが上がらなかったが、最近では41秒台を記録するなど驚異的な成長を遂げている。しかしながらレースとなると中々序盤からペースが上がらず苦戦しているが、根性はハルキ以上のものがあり、第2戦、最終戦と非常に楽しみな選手である。

★8月2日開催J-T R I P杯近畿スポーツランドミニバイクレース第2戦！
エントリー締め切りは7月23日(木曜日) 最終メ切りは7月26日(日曜日)です！！

どうもどうも10か月続いた禁煙生活が、キンスポRR第1戦のストレス?から終了いたしました。まことに情けない次第でございます。根性無し42歳ヤスヒコです。今回第4号の発行が誠に遅くなりまして・・・春号発行の予定が初夏号という苦しい紛れの中途半端な状態になりましたことをお詫び申し上げます。さて、梅雨真っただ中で、洗濯物が乾かない季節ですね。本業が主婦の私には誠にイライラがMAXです。息子の学校もプールが始まり、水着に、クラブ活動の体操服に作業服、給食工、ロン、学生服のポロシャツといっただけ洗濯さすねん！責任者でこい！と言いたくなる毎日を通じてしまいました。キッズのお母さんたちも本当に大変なおもいをされていることと思います。さて、今回はキンスポに来て下さる子供たちの事について親御さんにお願ひがあります。子供は元気が一番！それは何よりなのですが、最近トイレに大量の石を投げ込んだり、備品を壊したり、パドックではしやぎすぎて車とぶつかりそうになったり、トイレの虫よけスプレーを撒きまくり、一瞬で終了させたり、と、ちょっと困る位はさすが増えてきました。確かにキンスポはキッズ走行時間が朝1時間、昼から1時間30分と短いので、その時間は非常に退屈なのは分かりますが、私含めて従業員3名の超零細なので、目がいき届かずにいます。なによりもコースの安全や事務作業、清掃に追われておりますので、お子様の面倒まででは見る事が出来ませんし、お子様のためのだけの施設ではありません。あくまでもライダーディング技術やマナーの向上を目的とする施設ですので、宜しくご理解のほどお願い申し上げます。

車両の整備や親同士の情報交換に忙しくされている間に子どもたちは当然遊びます。遊ぶのは大いに結構なのですが、他のライダーの迷惑になる行為はやはりご注意頂かなないと困ります。あと速く走らすことに一生懸命になるあまり、大事なマナーや安全面の教育がおろそかになっている方も時々見受けられます。ついでにもう一点、他の人に対する態度がよくない子供さん(親御さん)もおられるようです。経験上成長するにつれ、誰かの指導をいただいたり、お世話になることが多いモータースポーツ業界ですので、正直そのへんが成ってない親御さんやお子さんには、何もしたくないのが皆さん本音だと思います。当然私もです。最終的には自分が損することになると思います。今一度そのあたりを二再考いただければ幸いです。今一度危険が伴いつつスポーツですので、その辺が出来ないと最悪将来に大きな苦勞やマイナス面が出てきたりします。

もちろんどんなスポーツでもそうですが、そのあたりを非常に厳しく教えられるわけで、野球やサッカーのように明確な指導者 監督やコーチがいらないのがモータースポーツですから、親御さん次第の所が多くあります。子供さんが生まれて頃からバイクが好きでやっているわけではないと思いますので、それをやらせる親御さんにはより重い一定の責任があると私は考えます。正直今の速い遅いはさほど問題にはなりません。どういいう角度でレースに挑むか? どういう目標でレースに出るか?それが重要なんです。今一度家族でお考え下されば幸いです。m()m()m()

さて、話は変わりましたが、ゴミ問題なのですが、最近の風潮がゴミの分別や環境について色々報道されている効果もあり、昔に比べるとかなりゴミのマナーがよくなってきたのも事実なんです。やはり、時々とんでもない輩がキンスポにもきているようで、先日、家庭で不要になったゴミを大量にキンスポに捨ててきました。正直この仕事をやっていて一番アッショの下がる瞬間です。産業廃棄物として処理する費用もかなり高額です。なによりもサーキットを大事に思っ下さない事に腹が立ちます。私は筏で釣りをしますが、餌で汚れた筏を最後は水で流し、きれいにするのが至極当然の釣りをしております。一度もそれを怠る釣り人は見たことがありません。大によつて充分、不十分はありますが、ゴミを捨てるなんて論外、ましてやバーベキューした屑やたばこの吸い殻などは拾ってほしいなと思います。金払ってんだから清掃は施設側の責任では?と言う方もおられると思います。そう思う方はキンスポには来ないで下さい。お願いします。

あと駐車場の止め方が非常に荒いのが目立ちます。周りの事も考えて、必要最小限でお願いします。縦に止める所を斜めに止めたり、2区画分を優雅に使うとか、平日なら別に大丈夫なのですが、土日込み合う時はマジ勘弁と言った感じです。

私も偉そうに言いましたが、社会の中では素行がいい人間とは言えないと思います。しかし、常に努力することが大事で、いけないことはいけないという大人になれるように努力していくことと思います。そしてこれからも努力するライダー人と人のつながりを大事にする仁義あるライダー 素晴らしいレースを見せてくれるライダーを微力ながら全力で応援していこうと改めて思います。皆さんも是非、私たちと正しいモータースポーツの形を創造しようではありませんか!

小さなバイクに大きなハート キンスポ代表 ヤスヒコ

(0) / になれるより習え! KSLライディングセミナー 受講生募集!!

